

第12回 函館オープンカンファレンス アンケート結果

【回答数 118 件】

【所属】

	回答数	割合
院内	26	22%
院外	72	61%
無回答	20	17%

【職種】（複数回答可）

	回答数	割合		回答数	割合
医師	4	3%	看護助手	0	0%
看護師	24	20%	ME	0	0%
保健師	3	3%	MSW	7	6%
薬剤師	9	8%	ケアマネ	32	27%
PT/OT/ST	2	2%	事務	2	2%
放射線技師	0	0%	その他	15	13%
栄養士	0	0%	無回答	20	17%

【経験年数】

	回答数	割合
1～2年目	6	5%
3～5年目	14	12%
6～9年目	10	8%
10年目～	68	58%
無回答	20	17%

質問1 本日のオープンカンファレンスについて、5段階評価をしてください。

1. 専門的知識・技術を学ぶことができた（できた:5～できなかった:1）

	回答数	割合
5	52	44%
4	31	26%
3	11	9%
2	4	3%
1	0	0%
無回答	20	17%

2. 具体的でわかりやすい内容だった（わかりやすかった:5～わかりにくかった:1）

	回答数	割合
5	64	54%
4	21	18%
3	12	10%
2	1	1%
1	0	0%
無回答	20	17%

3. 時間配分は適切だった（適切だった:5～適切ではなかった:1）

	回答数	割合
5	62	53%
4	23	19%
3	12	10%
2	0	0%
1	1	1%
無回答	20	17%

4. 今後に活かせる内容だった（そう思った:5～そう思わなかった:1）

	回答数	割合
5	60	51%
4	26	22%
3	12	10%
2	0	0%
1	0	0%
無回答	20	17%

質問2 良かった点を教えてください。

記載内容 ⇒ 別紙1(回答数61件)

質問3 改善点を教えてください。

記載内容 ⇒ 別紙2(回答数13件)

質問4 今後に期待すること, その他ご意見等。

記載内容 ⇒ 別紙3(回答数17件)

質問5 今後のオープンカンファレンスついて当てはまる項目に✓をつけてください。（複数選択可）

	回答数	割合
自分の病院でカンファレンスしてほしい	3	3%
機会があれば参加したい	93	79%
参加したくない	2	2%

質問2 良かった点を教えてください。

○医師

- ・訪問看護，ケアマネ等各専門の方々が参加して現場の声が聞けた感じがした。
- ・本人の問題行動と思われることが筋を通して理解されてよかったです。
- ・患者というより一人の人間としての最期について多くのことを共有できたこと。

○看護師

- ・バッドニュースを受け入れられない患者さんの状況がよかった。
- ・ご本人の尊厳を大切に扱われたことが理解できた。
- ・本人の意向を周囲のスタッフがそれぞれの関りで尊重していったところがよかった。
- ・患者の背景，人物，病状の経過，最後の状況などそれぞれ関わった方からとてもわかりやすく説明がありとても良かった。
- ・どのように連携されていくのかがよく見えました。その方を見る。病気も…ですが，それを知ることができた。
- ・各所属の担当者のリアルな情報を知ることができて良かった。
- ・他職種の連携の状況がわかりやすかった。ID-Linkでの情報提供は役に立つと思う。
- ・自事業所以外の症例をあまり聞く機会がないので貴重なお話を聞いて良かったです。
- ・実際の事例を通して，患者さんの性格や生きてきた背景を理解しながら関わることの大切さを学ぶことができました。
- ・本人のことが良くわかる，様々な人のお話が聞いてよかったです。
- ・他職種の介入によって患者が自分らしく最後まで生きることができた事例であったと思う。
- ・急性期から在宅に向けて皆様の在宅に場所を移した後も大変だったところが共有されていて連携の大切さが知れて良かった。
- ・時系列で説明してもらったのでわかりやすかった。

急速にすすむ病状に対して，本人の自覚症状がない中での介入の難しさは医療行為だけでなく，家族も苦勞があると考えます。関わりのコツや病状を受け止めきれない患者さんへの対応について学ぶことができました。

Ca末期の患者さんが初回受診から病院の連携室，介護施設，ケアマネジャー，訪問診療，訪問看護の流れが知ることができた。川口先生の進行がわかりやすく具体的にイメージすることができた。

- ・司会の振り方が良かった。市立函館病院のDrの振り方がとくによかった。
- ・自己決定に対する周囲の対応が良く分かった点。HP側からのID-Linkの活用方法が聞くことができて良かった。
- ・病識の知識から人との関わり方まで幅広く学べるオープンカンファレンスだった。

○保健師

- ・窓口に来た方が医師からの説明がどのようなことで，今回来所されたのかわからず戸惑うことがありましたが少し背景をイメージすることができました。
- ・緩和ケア病棟の入院が最善と思われがちが症例であったが，医療と在宅の連携でその人らしい最期を迎える準備ができると認識できた。

○薬剤師

- ・ナラティブアプローチの一例を知った。
- ・パーツ，パーツでとってみると断片的にしかみられなかった事例が，多職種の視点で線がつながり全体的がみえてわかりやすかったです。
- ・時間軸とともにその方の生活スタイルと治療状況をその関係がわかった
- ・患者背景や病状，環境の経時変化がとてもわかりやすかったです。また各職種の関わり方や情報共有の重要性を学ぶことができました。
- ・薬局でみれないことが多く，学びがたくさんあった。

- ・ 看取りまでの症例を聞くことができた点。
- ・ 病気について分かりやすく説明してくれたこと。免許返納についての対応について知れた。
- ・ 初めてオープンカンファレンスに参加しましたが非常に具体的で多職種での関わりについて学べました。

OPT・OT・ST

- ・ 看取りは途中途中で「もっとこうできたら」と思うことがたくさんあるけど、点じゃなくて線で最後までみたらよかったねーって思えることがあると改めて知れてよかった。

OMSW

- ・ 知らなかったことを知れた。
- ・ もう少しフロアでの発言がほしい。
- ・ 表面的に見た行動だけではわからない患者の人柄があることを改めて感じた。
- ・ ライフステージで全体像を見れること。ホワイトボードでの事例の整理。
- ・ 多職種意見を多く聞けてよかったです。

○ケアマネジャー

- ・ 血液内科特有の難しさを知ることができた。
- ・ ケアマネの苦労を話してくれる川口先生が良かったです。
- ・ 同施設で、看取りの方を担当したことがあり、振り返りながらお話を聞くことができました。わかりやすかったので今後の参考にしたいと思います。
それぞれの立場からの状況説明。思いなど聞けて、一連の様子が浮かび自分も関わっていたかのような気持ちになり涙が出ました。自分だけではなく、いろいろ頼まれる方が周りにたくさんいるので協力し合いながら支援にあたっていきたいと改めて思いました。
- ・ 白血病に対する知識が深まった。末期がんの方を最後まで在宅サービスで対応したことが参考になりました。
- ・ 司会の方が上手くわかりやすかった。全体像がわかり関わりの難しさ、連携方法など勉強になった。
各々のサービス事業者の話も詳しく効けて状況が理解できた。血液疾患の話や薬のことをDrから聞いて良かったです。最後までご本人を尊重できたケースだと思います。ベテランスタッフが関わってる点でも気づきや連携が素晴らしいと思いました。
- ・ 実際にあった事例を基に関わられた方々の体験も聞いたことがよかった。
医療のことがわからないという事から、何から関わってあげたらいいのだろうと不安になります。このような事例を知る事により私にもできるのでは、できるという自信になってくれればと思っています。そう思えるカンファでした。
- ・ 自分の今後のケースに活かせると思った。初回で怒られても相手の心に入っていける施術を学べた。
- ・ 似た事例の利用者を担当しており、支援者の対応に共感ももてた。
終末期に向けた関わり方、本人の性格に寄り添った対応など関わった全ての職種の対応全て参考になりました。長く支援をつづけたケアマネさんの大変さもわかりますが最後の妻との会話に救われたのではと思いました。
- ・ 実際に関わったスタッフの方の話は感じたことなど伝わり勉強になりました。（各ポジションからの意見、感情など）
外来での対応や配慮されているところがよくわかった。環境を整えながら進行の経過と共に変わっていく気持ちに寄り添ってきた状況がわかった。
- ・ 医療的なことを施す場合にもいかに本人を納得させるか本人が心を開くと思われるネタを見つけるのにアセスメントの大切さを改めて理解しました。今回、初めて参加しましたがまた案内をいただければと思います。
- ・ 利用者との関わり方を学ぶことができた。多職種の連携方法が参考になった。

- 外来から訪問診療に繋がった様子が詳しく確認出来ました。
- 多職種の関わり方が詳しく聞け、ご本人・ご家族の様子がわかりました。
- 実際の事例や関わった方の直接のお話が聞けるのが貴重な機会でした。ありがとうございました。
- ケアマネの大変な部分もわかって頂き良かった。本人の気持ちの流れなどもわかり良かった。

○介護職員

- ご本人のケアと看取りについてHPと訪看との連携。
- 短い時間で1人の頑固な人とその周りの方の葛藤が分かったような気がしました。
- 知識を増やすことができてよかった。関わる上でのポイント、大切なことを知れてよかったです。

○ヘルパー

- 身近に感じわかりやすく、今後このような時があった場合、頭に浮かび対応に役立つのではと思います。

- 訪問介護員ですが、看取りで入ることが何度かありましたがNsやDrとの連携、また介護員は何をすべきか？どうすることが役に立つのか知りたかったので、参加して良かった。ID-Linkを介護の方でも利用してみたい。

○施設長

- 各担当よりの説明でわかりやすい。
- 困難事例でしたが多職種の関わりがとても良かったと思いました。

○社会福祉士

- 全体の対応などについてわかりやすく理解できました。各々の関わりなどを知ることができて良かったです。

○施設相談員

- 事例の内容と時系列でのそれぞれ関わった職種の感想。

○臨床検査技師

- 地域の連携についての学びがとてもたくさんあり、勉強になりました。進行もスムーズでとてもわかりやすかったです。患者さんとのコミュニケーションの大変さが伝わってきて、短時間の対応で協力が得られにくい状況になるのは特別なことではないことがわかり工夫次第ということを知って良かったです。

○鍼灸師

- 終末期まで急に進む中で、人の関わりや本人の気持ちの推移が大変良くわかり勉強になりました。

質問3 改善点を教えてください。

○医師

- 欠席者がいたのは残念でした。

○看護師

- 「私は」「私たちが…」と登壇者が言っていたので誰かがよくわからなかった。
- 急性期HPとその後のかわりの温度差がとても感じられた。たくさんいる患者さんに深くかわることは難しいと思うが往診できない患者に対してDrのかわりが案外あっさりしているんだな～と思ってしまいました。
- 訪問診療担当医師の発言、思いは？

○薬剤師

- 今日の事例にかかわったケアマネジャーさんの欠席が残念でした。
- 訪看、施設、病院との連携の簡素にまとめて下さるとわかりやすい。
- 患者さんと関わっていて、こうすれば良かったと感じたことやままならないと感じたことをもう少しお聞きしたいと思いました。

○OPT・OT・ST

- みなさんが関わる中でもっとこうできたらと思うことがあれば聞きたかった。

○ケアマネジャー

- 資料を持ち帰れるとよかったですと思いました。
- 誰が話しているのかわからなかった。
- Drの早口がすごく気になった。

○施設相談員

- ケアマネのお話を直接聞きたかったです。

質問4 今後に期待すること、その他ご意見等。

○医師

- 定期的な開催を期待しています。

○看護師

- この機会に今後もこのような機会を設けてほしい。
- 定期的にあることで、他のHPや事業者をリアルに知ることができ、今後連携をとる中で円滑にスムーズに関わっていけると思う。
- 今後もぜひ参加したいと思いました。
- 久しぶりの開催を楽しみにしていました。これからもよろしくお願いします。
- 精神疾患のある患者もしくは家族に関するかかわりの事例を聞きたいです。行政の動きも含めて学びたいです。
- ID-Linkの入力が外来だと発見しづらい。全員の患者さんを把握できていないので一人一人の画面を開けることができない。
- 治療、対処療法の対象外となってから生活場所の調整、療養ケアへの移行。患者の大事にしていることニーズを知るまでの関係づくり連携に要する時間が十分に間に合うことは難しいケースと思ったがやり切ったのかと。
- 様々な多職種の話、様々な科からの視点を聞きたい。

○保健師

- 悪性疾患、身寄りのない方等、キーパーソンがいない事例等悩むことが多く、今後も勉強させていただきたいです。

○薬剤師

- 子ども（大人）のメンタル疾患をかかえた方（covidの影響も踏まえ）への関わり方。
- 今回函館オープンカンファレンス、初めて参加させていただきました。コロナ禍の後では今回久々の開催との事ですが、今までこのような会を知ることができてよかったです。この度はありがとうございました。
- より具体的に失敗した経験も併せてお知らせください。
- ぜひまた参加したいです。薬局に求められることを学び教えてほしい。
- 最期のディスカッションをもう少し聞きたいと思いました。

○ケアマネジャー

- 勉強になりました。
- ケアマネとの連携について聞きたいです。
- がんの方の担当をすると、いつ悪化しても困らないようにと考えます。医療の知識があまりない仕事からケアマネになった人間でも頼りにしてくれる利用者様のために育つことが出来るように今後も勉強の機会を沢山もたせていただけたら有難いです。麻薬を使っていると入所を受けてくれる施設がないです。ハートtoハートは対応してくれていたのだなと思いました。管理はどうしていたのかな。利用者様が入院すると病院からよく「もう在宅は難しいと思う。施設がいいのでは」と言われます。本人の気持ちは？といつも思います。本人の人生で私が決めるものではないのでとよく返答します。
- 色々な事例を聞いてみたい。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 自分は在宅で利用者を看取ったことが2度あり、訪問診療医ともっと連携がとれるきっかけになればと思っています。

○介護職員

- 実戦でのリアルな声が聞けてまた機会があれば参加したいと思います。
- あっという間の研修でした。とても勉強になりました。ありがとうございました。

○ヘルパー

- 研修の出席証明を発行できるようにしてください。
- これからも看取りは増えると思いますし、私達の場面としてあると思います。情報提供、連携が必要。

○施設長

- 看取りの例をたくさんしてほしい。
- 施設でも看取りをするようになったので、色々な事例を聞くことができるととても参考になります。今後も機会があれば参加していきたいです。